

晴れた日には出かけよう！
～まちのミリョクを再発見!!～

15

はぶとお
羽生通りと
いなさわてんじんしゃ
伊奈沢天神社



情緒ある大久野の羽生通りには、多摩地区では珍しい天神さまがあります。

大久野小学校前を流れる平井川南岸に、少し開けた土地があり立派なお屋敷が立ち並んでいます。そこを東西に縦断する里道のことを、地元の人々は親しみをこめ『羽生通り』と呼んでいます。

羽生通りは、羽生バス停付近の羽生橋から平井川の南岸に渡り、秋川街道の大久野中学校バス停付近に合流する1kmほどの通りです。かつてはこのあたりのメインストリートで、日の出山を経て御嶽神社に続く御嶽道として多くの人々が往来していたそうです。今でも、人と自然が折り合いをつけて暮らしていた頃の温かい面影を数多く残しています。

通りの入口となる羽生橋付近には棚田が残り、秋には黄金色の稲穂が穂ります。里山には絶滅が危惧され、昭和53年(1978)に町の天然記念物に指定されたトウキョウサンショウ



トウキョウサンショウウオ



ヒメザゼンソウ

ウオが生息し、羽生人形店前の湧水のある斜面地では、大変貴重なヒメザゼンソウが自生していて、こちらも昭和53年(1978)に町の天然記念物に指定されています。

通りの中ほどに向かうと、屋敷林に囲まれた歴史あるお屋敷が立ち並び、日の出町の「卒塔婆」産業発祥の地となる「中羽生」さんという屋号のお宅や、立派な薬医門と全国的にも珍しい総三階建てで黒漆喰の土蔵があるお屋敷などもあり、落ち着いた雰囲気と歴史に触れることができます。



薬医門と黒漆喰が塗られた3階建ての土蔵

お屋敷の建ち並び一画には、多摩地区では数少ない天神さまの伊奈沢天神社があります。こちらのご神体であ

る木造菅公坐像は江戸時代前期に造られたものだそうです。蛇足になりますが、天神社とは学問の神様である菅原道真公を祀った神社で、学生服でおなじみのカンコー学生服の名称などは、学問の神様「菅原道真公(菅公)」に因んでつけられたのだそうです。



縁日に売り出される豆太鼓

伊奈沢天神社では、年初めの1月下旬に天神さまを祝う縁日が行われます。特に、伊奈沢の天神さまのご利益は抜群とのことで、近隣の受験生が数多くお参りに来るそうです。縁日では湯花神事が執り行われます。これは養蚕が盛んだった頃から伝わる神事で、お蚕さまと呼ばれた蚕のためにはじめられたといわれています。舞台では、お囃子の奉納も行われます。また、縁日で売り出される縁起物の豆太鼓は、地元青年会(青羽会)の人達が一つずつ手作りしたものです。太鼓にはその年の干支が描かれていて、豆太鼓の頭の部分には竹で編んだ風車が付いています。

..... アクセス



羽生通りへは「大久野中学校」バス停または「羽生」バス停下車すぐです。

日の出WALK(観光マップ)【1-7】

